

①止血の基本は、出血部位を直接圧迫する「直接圧迫止血法」。包帯をきつめに巻くことも効果的。片手で圧迫しても止血できない場合には、両手で体重を乗せながら圧迫止血する。直接圧迫止血では、4分以上の圧迫が必要と言われている。

※参照：明石市消防局「出血時の応急手当」

②やけどの部位がはれてくるため、指輪などの装身具を身に付けている場合は早めにとる。

※参照：公益社団法人日本皮膚科学会「Q2やけどの応急手当はどうしたらよいですか？」

③・AEDには、成人用と小児用の2種類のパッドが入っている場合がある。小学生以上の傷病者には、成人用の電極パッドを使用し、小児用は使用しない。小学校に入るまでの小児（未就学児）には、小児用の電極パッドが入っていればこちらを使用する。  
・傷病者の胸が濡れている場合は、タオル等で拭き取ってからパッドを貼る。  
・心臓ペースメーカーや除細動器が植込まれている場合、胸に出っ張りがある場合は、ペースメーカーを避けて、電極パッドを貼りつける。

※参照：横浜市トップページ～暮らし・総合～防災・救急・防犯～救急応急手当の方法など～倒れている人をみたら（心肺蘇生の手順、AEDの使い方）

④「防災グッズとしてスリッパを用意したほうがいい」と言うが、簡単にはぬげない、底の厚いしっかりした靴をはかないと足を切ってしまうそうだった。という被災者の声もある。寝室には靴を置いておくと安心。

※参照：内閣府防災情報「スリッパではあぶない家の中」

＼ふだんから知っておきたい緊急知恵袋／

応急処置

ケガをしたとき、すぐに手当をしておけば、悪化をある程度防ぐことができます。大人が来るまで、また病院に行くまでの間に、応急処置をしておきましょう。

|  |  |
|--|--|
| <p>●止血のしかた</p> <p>傷口に直接手を触れないよう、タオルや布・ビニールなどをあて、その上から強く圧迫する。できれば心臓よりも上に傷部を上げる。</p>        | <p>●添え木のやり方</p> <p>捻挫や骨折をしたときは、患部が動かないよう固定することが大事。新聞紙やハンカチなど、身近にあるもので代用しておく。</p>     |
| <p>●やけどの手当て</p> <p>やけどしたところをすぐに水で冷やし、15分から30分間冷やし続ける。あわてて衣類を脱がすとやけどが悪化するおそれがあるので慎重に。</p>  | <p>●AED</p> <p>心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻す。操作案内の音声に沿えば誰でも使える。</p>  |

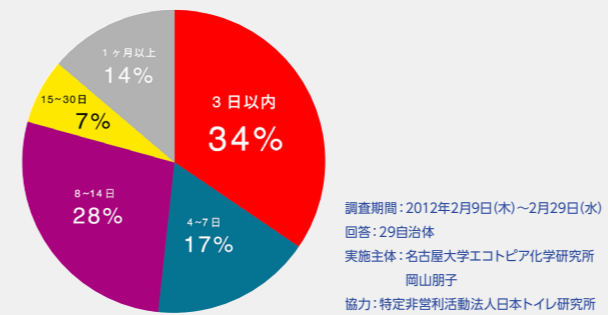
防災豆知識

毎日の生活で使っている身近なものが、少しの工夫で防災アイテムになります。他にどのようなものがあるか考えてみることも大切です。

|   |  |
|---|--|
| <p>●新聞紙</p> <p>肩にかけたり服の中に入れておくと寒さを和らげることができる。骨折の応急手当で添え木の代わりに。多くの用途に使うことができ万能。</p>   | <p>●ペットボトルランタン</p> <p>水が入ったペットボトルを懐中電灯の上に置くと、さらに辺りを明るく照らすことができる。災害時は、火を使わない明かりのほうが安全。</p>  |
| <p>●食品用ラップ</p> <p>洗い物ができないときに食器に巻けば水の節約になる。傷の応急処置でも包帯や三角巾として使える。寒い時期は、体に巻くと暖かい。</p>  | <p>●簡易担架</p> <p>トレーナーの袖から裾へ2本の長い棒を通して担架を作ることができ、ケガ人を安全に運ぶことができる。使用前には、強度を確認しておくこと。</p>     |
| <p>●靴</p> <p>窓ガラスが割れて床に散らばり、転倒して壊れたものの破片で床が歩けないときがあるとよい。寝るところに1足置いておく。</p>           | <p>●トイレパック</p> <p>水洗トイレの便器にビニール袋を被せて、用を足すことができるようにするもの。一人あたり1日5個を目安に用意しておく。</p>            |

① 3日以内に仮設トイレが行き渡った自治体は34%

Q. 仮設トイレが避難所に行き渡るまでにどれくらいの日数がかかりましたか？

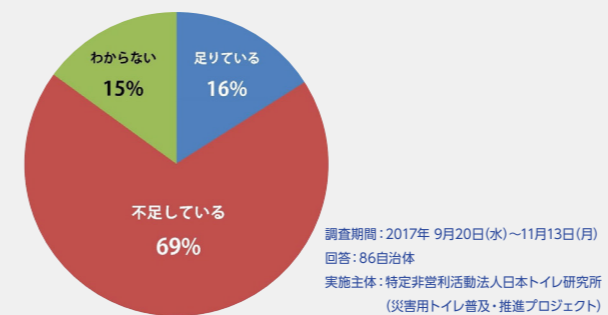


調査期間：2012年2月9日(木)～2月29日(水)  
回答：29自治体  
実施主体：名古屋大学エコトピア化学研究所 岡山朋子  
協力：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

※参照：日本トイレ研究所「災害時のトイレ対策～被災者の経験に学ぶ～(1)」  
<http://toilet-guide.blogspot.com/2018/03/blog-post.html>

② 自治体の約70%が「災害用トイレは不足している」と回答

Q. 災害用トイレの備えは、想定避難者数に対して足りていますか？



調査期間：2017年9月20日(水)～11月13日(月)  
回答：86自治体  
実施主体：特定非営利活動法人日本トイレ研究所 (災害用トイレ普及・推進プロジェクト)

※参照：日本トイレ研究所「災害時のトイレ対策～被災者の経験に学ぶ～(1)」  
<http://toilet-guide.blogspot.com/2018/03/blog-post.html>

文字の色について

赤文字：単語の意味の説明  
青文字：生徒への支援の視点や発展的な内容